



会場へのアクセス

「かえりみちをつくる」展示会場

- ① 三津浜アート蔵
(愛媛県松山市三津1丁目10-8)
伊予鉄道高浜線 三津駅より徒歩13分
伊予鉄道高浜線 港山駅より徒歩10分
- ② 旧濱田医院
(愛媛県松山市住吉2-2-20)
伊予鉄道高浜線 三津駅より徒歩6分
三津浜アート蔵から徒歩10分
- ③ 松山アーバンデザインセンター
もぶるラウンジ
(愛媛県松山市花園町4-9 岡田ビル1階)
伊予鉄道 松山市駅より徒歩5分
伊予鉄道 南堀端停留場より徒歩4分

ワークショップ会場

- ④ 木村邸
(愛媛県松山市三津1丁目11-5)
三津浜アート蔵から徒歩3分

お問合せ |
ことばのちから2020「ことばのインスタレーション」
松山ブンカ・ラボ / 080-9833-9869

注意事項 |
※プログラムの内容は予告なく変更させて頂く場合がございます。あらかじめご了承ください。
※ワークショップ会場が変更になる場合や、オンラインでの開催になる場合にはお申込み頂いた方へご連絡いたします。
※会期中は記録・広報用に写真、並びに動画撮影をいたします。撮影素材は報告書や公式HPのほか、広く広報活動に使用させていただきます。
※来場される際にはマスクの着用をお願いいたします。

ことばのちから 関連プログラム

『だから、ことば大募集』

松山市は、正岡子規をはじめ多くの先人たちが残してくれた豊かな文学的土壌を大切に受け継ぎ、「ことば文化」をいかにしながらまちづくりをしています。
「だから、ことば大募集」で、「ことば」を全国から広く募集し、「ことばを大切にすま松山」をPRします。これまで、2000年と2010年に「だから、ことば大募集」を実施し、それぞれ全国から12,000点を超える多くの「ことば」が寄せられました。その中から選ばれた作品は、路面電車や松山城ロープウェイなどさまざまな場所に「街はことばのミュージアム」として展示しています。
皆さんから寄せられた「ことば」を松山の宝として、ことばの魅力で街を彩り、松山を訪れた人や市民に笑顔を届けています。

募集に関する情報は下記 URL、または QR コードからご覧ください。
<https://kotoabanochikara.camps.jp>
お問合せ |
ことばのちから実行委員会事務局 (文化・ことば課内) / 089-948-6952



ことばのちから2021『ことばのミュージアム』

紙面上で展開する「ミュージアム」を全2回発行します。「ことば」という視点を掘り下げ、「ことば」にまつわる様々な表現を通じ、交流と対話を生み出します。
配布場所：松山市内各所 配布期間：2021年1月～3月(予定)

制作・運営：NPO法人シアターネットワークえひめ 企画協力：松山ブンカ・ラボ
協力：NPO法人クリエイティブアンドコミュニケーションオブアーツ、木村邸、
コトラボ合同会社ミツハマル、松山アーバンデザインセンター、有限会社大伸ステンレス

ことばのインスタレーション

かえりみちをつくる

牛島光太郎 (美術家)

2020年10/25(日)～11/29(日)

会場 | 三津浜アート蔵、旧濱田医院、
松山アーバンデザインセンター もぶるラウンジ、木村邸

ことばは声や文字からしか理解したり読んだりできないものではないでしょうか？
ことばを発したり書いたりする前に、あなたやわたしの頭や心のなかにある、
ことば以前の何かを、見たり想像したりすることは可能でしょうか？
本プログラムでは、ことば以前のイメージやことばの背後にある余白を、
鑑賞者、参加者、そしてアーティストが共に探し求めていく
インスタレーション展示やワークショップを展開します。

ことばのちから 2020

主催 | 松山市、ことばのちから実行委員会 松山市



ことばの大地を耕し、ことばの余白を冒険する

松山に暮らす美術家が紡ぐ、 三津浜の記憶と声の物語

国内外で作品を発表し続ける牛島光太郎による
松山初の新作展示です。

地域で暮らす生活者の言葉を丁寧に採取し、

言葉に宿る個人的な物語を

フィクションとして再構築していきます。

“言葉と光のインスタレーション”に身を置くことで、

あなたの記憶に火が灯ります。

ことばのインスタレーション

『かえりみちをつくる』

牛島光太郎

展示 会期：2020年10月25日(日)～11月29日(日)
オープン時間：金・土・日 11時～17時
※お休み：月～木
料金：無料
会場：三津浜アート蔵 (愛媛県松山市三津1丁目10-8)
旧濱田医院 (愛媛県松山市住吉2-2-20)
松山アーバンデザインセンター もぶるラウンジ
(愛媛県松山市花園町4-9 岡田ビル1階)

関連イベント 作家による作品解説
日時：10月25日(日) 13時～、15時～
時間：各回30分程度
対象：どなたでも
会場：三津浜アート蔵
※予約不要

ワークショップ 『知らない家族のつくり話』
本展の重要なテーマである「家族」についてのワークショップです。ワークショップでは、短い文章を書いたり簡単な手作業を行う予定です。この作業は、本展の為に作家が行った制作手順と同じような工程で進められます。

親子で
参加もできます。

講師：牛島光太郎
日時：11月14日(土) 13時～15時
11月15日(日) 13時～15時
対象：小学3年生～大人 定員：15名
参加費：無料
会場：木村邸 (愛媛県松山市三津1丁目11-5)
※先着順、要事前申し込み
※両日とも同じ内容のプログラムを実施する予定です

**ワークショップ
申込** 下記のいずれかからお申込みください。
・QRコード ・電話 080-9833-9869
・メール bunkamatsuyama@gmail.com
(件名に「かえりみちをつくる」ワークショップ参加希望、本文に住所・氏名・電話番号・参加人数・希望参加日をお送りください。)
申込の締切：11月13日(金)
※申込をするにあたって不明なことがある方や障がいをお持ちで不安や心配事のある方はご相談ください。



本展のイメージドローイング



牛島光太郎 (美術家)
うしじま こうたろう

1978年福岡県生まれ。2017年より、松山市に在住。
言葉を用いた作品を制作。
日本での活動に加えて、ドイツ、台湾、中国、ニューカレドニアなどで作品を発表。関西国際空港や百貨店の吹き抜け空間やショーウィンドウなど公共空間への大規模な作品設置の他、里山や市街地でのアートプロジェクトを実施。個展、グループ展、多数。
2020年4月に著書『一枚物語 ちぐはぐな日々のはなし』(アリエスブックス)を出版。
2020年8月に都内のホテル「sequence MIYASHITA PARK」の客室(224室)に作品を設置。

ホームページ <http://www.ushijimakoutarou.com>

「帰り道」とは、文字通り「帰る時に通る道」です。

物理的な道を指す言葉ではありませんが、同じ道でも誰かにとっては「帰り道」かもしれない、別の誰かにとってはそうではないかもしれません。

使われる文脈にもよりますが、帰る先は居住地であることがほとんどです。

そう考えると、道という公共の場でありながら、個人的な意味合いがとても強い言葉です。この展示会は、三津の蔵を所有しているある家族から聞き取った話をベースにしてつくりました。どのような「かえりみち」をつくることができるかを考えながらつくりました。牛島光太郎

『かえりみちをつくる』制作日誌

<https://note.com/bunkalab>

牛島光太郎 過去作品

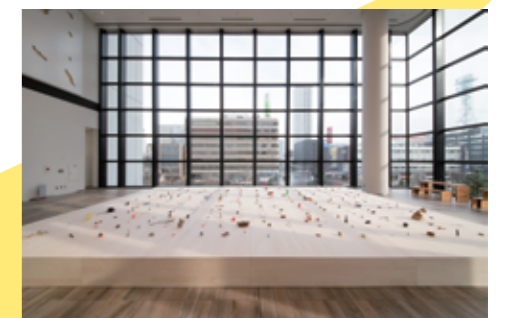
- 『外側のかたち』2019
札幌文化芸術交流センター SCARTS (札幌)
- 『海の街』2019
えひめさん物語 (愛媛)
- 『組み合わせの方法 -六本木の場合-』2018
六本木アートナイト2018
- 『used clothes person』2017
九州芸文館 (福岡)
- 『意図的な偶然』2014
京都芸術センター (京都)
- 『みちのもの』2012
LIXILギャラリー (東京)
- 『組み合わせの方法』2014
Gallery PARC (京都)



7

8

Photo: 栗生田兵吾



1 Photo: 小牧勇里



2 Photo: Hiroaki Zenko



3



4



5



6